

誤嚥性肺炎患者における抗菌薬治療プロトコルの有用性に関する評価

1. 研究の対象

2019年1月1日～2022年12月31日の4年間において、当院脳神経外科で誤嚥性肺炎の診断で抗菌薬治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

研究目的：

誤嚥性肺炎は、脳卒中となった患者さんに起こりやすい細菌が原因で起こる肺炎で、脳卒中患者さんの入院中の死亡と関係していることが質の高い臨床研究で証明されており、初期の抗菌薬による治療が重要となります。高知大学医学部附属病院脳神経外科と感染管理部では、誤嚥性肺炎と診断された患者さんを対象とした抗菌薬治療プロトコルを導入し、誤嚥性肺炎の検査や治療を行う患者さんで治療手順を標準化することで、入院中の死亡の回避や早期の退院を目指したものです。本研究では、誤嚥性肺炎の治療過程で患者さんの死亡に与える影響があったか、1日も早い退院を実現できたかといった視点でプロトコル導入の効果について検証します。

研究期間：

倫理委員会承認年月日～2024年3月末日まで

研究方法：

2019年1月1日～2022年12月31日までにプロトコルを導入した患者さんとプロトコルを導入しなかった患者さんにおける入院中死亡率、在院日数を比較します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、身長、体重、病歴、薬歴、血液検査値等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

「住所」 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

「電話番号」 088-880-2548

「担当者の所属・氏名」

高知大学医学部附属病院 感染管理部／薬剤部 八木祐助（研究責任者）